

佐伯広域森林組合

～令和5年9月7日(木)訪問～ 【佐伯市】



佐伯広域森林組合は、平成2年に、佐伯市、弥生町、本匠村、宇目町、直川村、蒲江町の6森林組合が広域合併し設立されました。皆伐、植林、下刈り、除伐、間伐、搬出というサイクルで行う「佐伯型循環林業」を実施するとともに、大規模な木材の加工、乾燥、バイオマス施設を整備し、高品質な製材品の安定供給体制を構築しています。

懇談では、特徴的な「佐伯型循環林業」について説明をお聞きするとともに、以前は「3K」と言われた林業が、作業の機械化や収入増もあって、最近では若い職員が増加しているという状況や中国等への輸出の現状、バイオマス発電等へのチップの提供による販売の多角化など、林業を取巻く現状や課題などについてお聞きしました。

また、将来を見据えて計画している2×4（ツーバイフォー）材の加工を目的とした新工場の建設では、外国産の牙城であった市場への参入に佐伯全域で意欲的に取り組み、工場建設前でも既に多くの引き合いがあるといった状況についてもお話がありました。

環境を保全する循環型林業に積極的に取り組むとともに、将来に向かって伸びていくモデルを構築されている組合の取組をお聞かせいただいたことに感謝を申し上げ、懇談後には、組合の施設や新工場建設予定地を見学させていただきました。

対話風景



関連する県の施策

☆事業名：林業再生県産材利用促進事業（R5補正 木材加工流通施設整備）

事業概要：県産材の需要拡大と高齢林の伐採・活用のため、加工流通施設の整備を支援

【新】大径材広域集荷体制構築に向けた加工拠点施設整備への助成
（補助率 5/6：国1/2、県1/6、市1/6）

予算額：7億488万円（合板・製材・集成材国際競争力強化・花粉削減総合対策交付金）

☆事業名：林業再生県産材利用促進事業（大径材利用促進事業）

事業概要：大径材の利用促進を図るため、大径材製品のサンプル出荷や海外販路開拓に要する経費を支援（補助率1/2）

予算額：1,097万円

※【新】は令和6年度からの新規事業